

令和2年度 幼稚園経営方針

1 幼稚園経営の基本的な考え

「地域に愛され、地域と共に歩む幼稚園」をめざし、保護者・地域の期待を尊重し、幼児が社会に出たときに、人生を幸福で豊かなものにするために、幼児教育で担うべき役割を明確化し、発達段階に応じた意図的・計画的な教育活動を、組織的に行います。

教育要領にもあるように、子どもの育ちの変化や社会の変化に対応していくため、発達や学びの連続性及び幼稚園での生活と家庭などでの生活の連続性を確保し、計画的な環境構成を通じて、幼児の健やかな成長を促します。

<重点的な教育活動>

- ・ 幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、生きる力の基礎ともいえるべき生きる喜びを味わうことができるようにする。
- ・ ものや人とのかかわりにおける自分の思いを出せるようにし、自分を知り、相手を知り、自分の考えを構築するとともに、自分を取り巻く社会への感覚を養う。すなわち、社会や事象に対する「見方・考え方」を働かせ、小学校以降での各教科における「見方・考え方」の基礎づくりを行う。
- ・ 常に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を意識し、各才児に応じた保育を積み重ねる。

2 教育目標

心身共に健康で、生涯にわたって自己を発揮し、人間性豊で主体的に行動できる幼児の育成を目指して次の目標を揚げ、その実現に努める。

- | | | |
|---|----------|-----------------------|
|  | よく考える子 | —自分で考え、進んで行動する子ども— |
|  | なかよく遊ぶ子 | —思いやりがあり、感情豊かな子ども— |
|  | あかるく元気な子 | —心身ともに健康で、いきいきと遊ぶ子ども— |

教育目標は、幼稚園と保護者、地域が共通認識としてもつ目標であり、常に意識しながら幼児の成長を促し、支援していきます。

3 教育目標を実現させるための具体的な方針

教育目標を実現させるために6つの方針を立て、実現していきます。

方針 1 主体性と協同性、創造力をはぐくむ教育を推進し、充実させます。

- ・ 幼児一人一人が主体的に伸び伸びと自己を発揮し、試行錯誤しながら遊びを創造し、楽しい園生活を送ることができるよう自己実現力など生きる力の基礎をはぐくみます。
- ・ 互いに協力し合う遊びや活動を展開し、互いの思いや考えを共有し、それらの実現に向けて工夫したり、協力したりすることができる協同性をはぐくみます。

〔具体的な教育活動〕 教師の意図的な環境構成で展開される遊び 日常のごっこ遊び
自分がやりたい遊びの実現 降園時における絵本の読み聞かせ
等

方針 2 基本的な生活習慣を身に付け、自立心と社会性をはぐくむ教育を推進します。

- ・ あいさつ、返事、身支度、片づけなど基本的な生活習慣の確立を図り、幼児の自立心をはぐくむ。
- ・ 自分が役に立っている経験を通して、家族や地域を大切にしようとする心と社会生活とのかかわりへの基礎をはぐくみます。

〔具体的な教育活動〕 登園・降園時におけるあいさつの習慣化 身の回りの始末等
楽しい弁当の時間 異年齢によるグループ活動 等

方針 3 学びの基礎力をはぐくむ教育を推進します。

- ・ 夢中になって遊びや活動に取り組み、心を揺さぶる体験を通して、豊かな感性と思考力の芽生えである思考力・判断力・表現力等の基礎を培い、学びの基礎力をはぐくみます。
- ・ 遊びや生活の中で数量などに親しむ経験を通し、自分の生活に生かすなどの数量・図形、文字等への関心や感覚を高めます。

〔具体的な教育活動〕 生き物や自然物とのかかわり
製作活動等における素材とのかかわり
遊びのイメージを実現するための援助
積み木や巧技台での遊びを通した試行錯誤 等

方針 4 健康な心と体をはぐくむ教育を推進します。

- ・ 様々な人とのかかわる体験や、自然と触れ合う体験を通して、相手を思いやる心や生命を尊重する心、自然を大切にすることなどの道徳性及び規範意識の芽生えを培うとともに、人権尊重の精神を培います。
- ・ 幼児が自分の体を十分に動かし、体を動かす気持ちよさを感じることを通して、心身ともに健康で意欲的に遊びや生活を進めていく態度をはぐくみます。

〔具体的な教育活動〕 生き物や自然物とのかかわり 遊びの中での教師の援助
園庭や校庭での運動遊び ルールのある遊び
係当番活動 遠足等での自然体験 等

方針 5 コミュニケーション力を高める教育を推進します。

- ・ 幼児期からの人とのかかわり方を経験し、自分の思いを素直に言葉による伝え合う力や、相手と折り合いをつける力をはぐくみます。

〔具体的な教育活動〕 日々の遊びの積み重ね
グループや学級での協同的な活動
小学生も含めた異年齢交流 等

方針 6 家庭・地域・幼稚園の協働的な教育を推進します

- ・ 園・家庭・地域の三者が幼児の成長を見守り、促す役割を担い、互いに協力し、共に育てる姿勢のもと、幼児の健やかな成長を促進します。

〔具体的な教育活動〕 保護者による保育参加
近隣の保育園との交流
地域の高齢者との交流活動 等

以上の方針を実現し、以下の幼稚園を創ります。

4 目指す幼稚園像

○ 信頼される幼稚園

幼児にとって良きモデルとなる魅力ある教員が、幼児とともに活動し、寄り添い、幼児が主体的に遊びに取り組む姿が見られる教育活動を展開し、保護者・地域に信頼され、支えられ、教員・保護者にとっても誇りと思える幼稚園

5 目指す教師像

「教育は人なり」と言われるように、教育活動を実践する教員の資質や能力は重要である。いかに社会が変化しようとも普遍的に変わらない指導やその時代に即した指導方法を確実に身に付ける必要があります。

(1) 子どものことを第一に考える教師

常に、子どもの成長を願い、子どものことを第一に考え、信頼し、教育活動の充実のためには不断の努力を惜しまない教師。

(2) 子どものよきモデルとなる教師

「思いやりのある子ども」を育成するためには、「思いやりのある教員」でなければなりません。常に、子どものモデルとなるように意識し、努力する教師。また、教育公務員としての礼節をわきまえ、社会人としての規範的な行動が取れ、あこがれとなる教師。

(3) 互いに協力し合い、互いに高め合う教師

幼稚園運営の基本は組織力である。互いに日々の実践を共有し、振り返ることができる教員集団として互いに協力し合い、育ちあえる同僚性のある教師。